

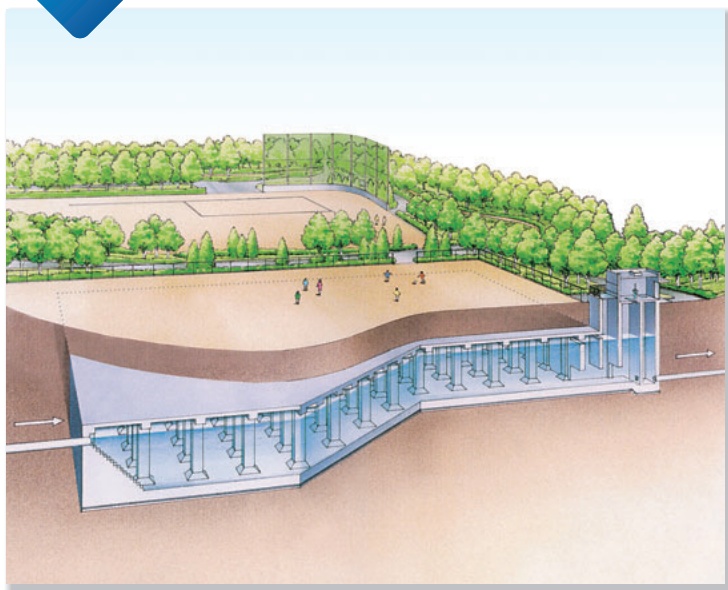
# 5 地震・水害対策の 基盤づくり

地震、水害などに備えた「災害に強いまち」をめざします。

そのため耐震対策、雨水対策などの

基盤整備を着実に実施します。

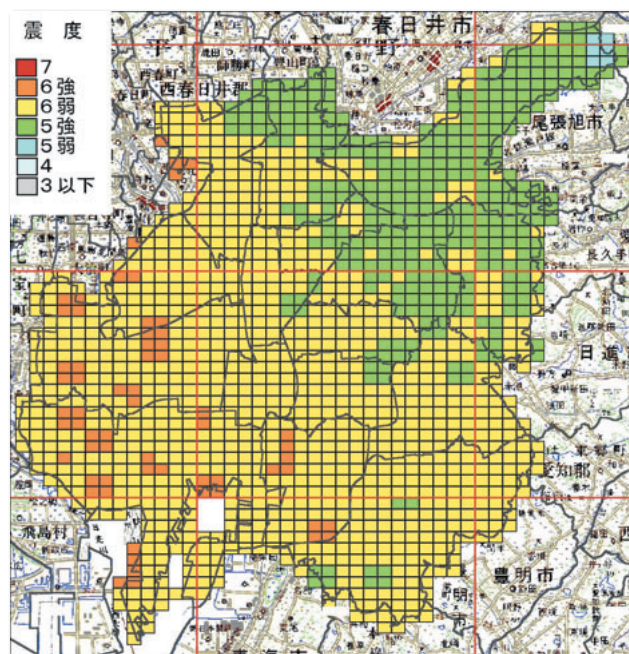
## 主な 計画事業



楠調節池完成イメージ

### 緊急雨水整備事業の推進

平成12年の東海豪雨により特に甚大な被害を受けた地域において、原則として1時間60mmの降雨に対応できるよう、雨水貯留施設の設置やポンプ増強などを実施し、同様な降雨が発生した場合において床上浸水をおおむね解消します。



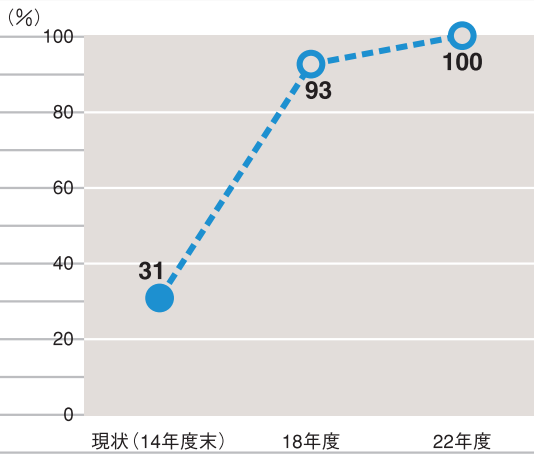
### 東海地震等による 影響調査

地震ランク分布  
(東海・東南海連動地震)

地域ごとの防災対策を推進するために、震度分布、液状化予測などに基づく地震ハザードマップを作製します。

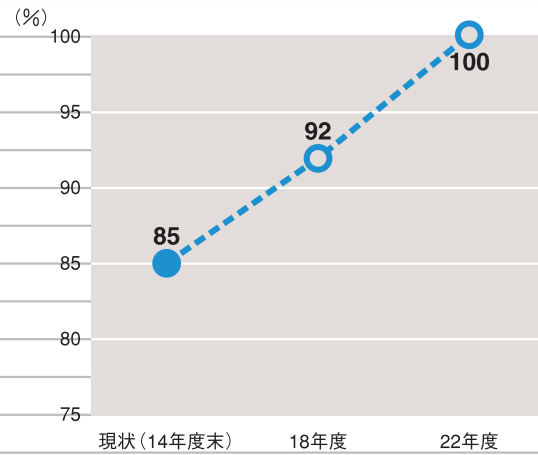
主な  
数値目標

防災上重要な公共建築物の耐震化率



防災上重要な公共建築物のうち、耐震化が必要な約800棟について、平成22年度までに耐震化整備完了をめざします。

下水道による都市浸水対策達成率



1時間50mmの降雨に対応するため、雨水貯留施設などの整備をすすめます。



市役所本庁舎

## 防災上重要な公共建築物の耐震改修等

市役所、学校などの防災上重要な公共建築物などについて、耐震診断の結果をふまえ、順次耐震改修を実施します。

- 道路・河川等の監視情報システムの整備
- 水道施設の耐震化
- 民間木造住宅の耐震改修促進
- 下水道施設の耐震化
- 住宅密集型公園(防災公園)の整備
- 橋りょうの耐震対策